



10月16日（木）に筑摩小学校6年生の福祉広場（地域施設）の草取り、10月22日（水）に同校のフリースタイルプロジェクトの発表会を参観させていただきました。その活動の様子を紹介します。

地域の方と一緒に福祉ひろば(地域施設)の草取り



地域の方の感想

子どもと一緒に草取りをして、子どもと一緒に活動できる機会が嬉しい。

8月下旬に、地域住民を対象に「地域の皆様と子どもたちの学びを考える会」が行われ、地域の方から雪かきや地域の清掃、草取りなど、生活の中での困り事が話題に上がりました。

一方で6年生が地域のために活動したいという願いをもっていました。両者の願いを知っていたコミュニティスクールコーディネーターの清水さんが、福祉ひろばの草取りがあることを知り、地域の方と一緒に福祉ひろばの草取りをする活動へとつながりました。

子どもの感想

一緒に福祉ひろばの草取りをして楽しかった。時間が一瞬で過ぎた。今度は地域の方と一緒に遊びたい。

担任の先生の感想

子どもの願いを大切に、地域の方と一緒に草取りできて良かった。地域に帰って来るような地域愛を育みたい。

フリースタイルプロジェクトの発表会

フリースタイルプロジェクトとは、自分が得意なこと、関心があることなど、テーマと目標を決めて取り組む活動です。全15時間で自分の目標に向かって見通しを持ちながら活動を進めます。自分の活動の必要に応じて地域の方に教えてもらったり地域の方へ取材に行ったりした子もいます。今回は、保護者や地域の方に向けての発表会でした。



子どもが設定したテーマ

- ・消しゴムはんこ ・手縫いエプロン ・料理 ・手芸
- ・ビー玉転がし ・エレベーターの仕組み ・韓国語
- ・黒板アート ・プログラミング ・スイーツ作り など



発表会の様子

発表者は、聞いている人の目を見て、聞こえるように大きな声で、相手の様子を見ながら伝えていました。さらに自分の活動の様子をスライドにまとめたり動画にしたり、それと併せて製作物を見せながら伝えたり体験してもらったりするなど、より伝わる工夫をし、相手意識をもって、自分の学習の成果を堂々と伝えていました。発表後は、聞いていた人が付箋に感想を書いて発表者に渡していました。付箋をもらった発表者は嬉しそうな表情でした。



子どもの感想

フリースタイルプロジェクトで、好きなことができて嬉しかった。最初は上手いかなかったこともあったけど、だんだん上手になって嬉しかった。

福祉ひろばの清掃では、地域のために自分たちができることを考え、行動に移す6年生の姿、子どもの気持ちを大切に受け止めて温かく支えている担任の先生、どちらも素敵な姿だと感じました。6年生が地域へ視野を広げ、地域へ貢献したいという気持ちが生まれた陰には、地域の方の温かな関わり、担任の先生が子どもの気持ちを理解した上での働きかけなどが、6年生の心に蓄積されてきたからこそではないかと思えます。

フリースタイルプロジェクトは、自分のテーマや目標に向かって夢中になって取り組める環境です。「やりたい！」という気持ちは活動の原動力となり、向上心や追究心を高めていくと思います。子どもの「やりたい！」を温かく支えてくれる先生方や地域の方のおかげで、子どもは生き生きと活動できると思います。